太陽光発電システム用 保護継電器盤 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
  - ⚠ 気をつけていただく内容です。
  - ⃠ してはいけない内容です。
  - ❗ 実行しなければならない内容です。

■使用上のご注意

⚠危険

⃠ 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

❗ 内線規程などに基づいて正しい工事を行ってください。

❗ 導電部の接続ねじは、表１の推奨締付トルクで確実に締付けてください。また、工事終了時に全ての導電部のねじを必ず増締めするとともに、定期的に増締めしてください。ねじがゆるんでいると発熱し、火災のおそれがあります。

表１　推奨締付トルク

ねじサイズ	締付トルク[N・m]
M３．５	0.932～1.27
M４	１．２～１．６
M５	２．０～２．５
M６	３．０～４．０
M８ 注1）	５．５～７．０

注１）ドライバー以外（六角レンチなど）の工具で締付ける場合
８．０～１３．０N・m

❗ 工事・点検時は遮断器を必ず切ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。

❗ 正しい配線工事をしてください。誤結線があると発火・感電・故障の原因になります。

❗ 配線は適合した電線、圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・発火のおそれがあります。

❗ 定期的に電気工事会社に点検を依頼してください。定期点検をしないと事故につながります。

扉は必ず施錠し、鍵は関係者以外持出せないよう管理してください。感電のおそれがあります。

接地線は接地端子に確実に接続してください。接地工事に不備があると感電のおそれがあります。

⚠注意

⚠ 改造などしたことにより生じた事故については、一切責任を負いません。

⃠ 水抜孔は塞がないでください。何らかの原因でキャビネット内に水が浸入した場合、漏電や故障の原因となります。

⃠ 次のような場所では使用しないでください。
- ・高温、高湿となる場所
- ・温度または気圧の急変がある場所
- ・腐食性ガスのある場所
- ・可燃性ガスのある場所
- ・可燃性ガスが漏れるおそれのある場所
- ・振動、衝撃のある場所
- ・有機溶剤のかかる場所
- ・塩分を多く含んだ環境
- ・ノイズ（電界、磁界）の強い場所
- ・粉塵やオイルミストが多い場所
- ・導電性粉塵（カーボン繊維、金属粉）のある場所
- ・氷雪により扉の開閉に影響が出る場所
- ・開閉器の操作が容易にできる場所

❗ 屋外で水の浸入のおそれがある貫通部には、防水処理を行ってください。漏電や故障の原因となります。

❗ キャビネット内機器への電線経路は、電線を伝って水が滴下する位置に注意し、電線を曲げるなどして水が伝わないように配慮してください。結露した水や漏水が電線に沿ってキャビネット内へ浸入するおそれがあります。

❗ 配線は電圧、容量を確認の上、施工してください。発熱・火災・事故の原因になります。

❗ 下記の設置環境でご使用ください。

標　　高	１０００m以下
周囲温度	０～４０℃（－１０～＋５０℃を１日に数時間許容するが、結露・氷結が起こらない状態。）
相対湿度	特に規定しないが、キャビネット内部の結露は、内部機器に影響がない程度とする。
風 圧 力	１０００Ｐａ（風速４０m／ｓ）以下

❗ キャビネットの通線穴加工時、内部に切粉やゴミがかからないように養生などの処理をしてください。切粉やゴミがかかると感電、故障の原因となります。

❗ 扉を施錠した際は、必ず扉が閉まっていることを手で確認してください。

■施工上のご注意

⚠危険	
零相電圧検出器を高圧受電設備へ取付ける際は、引込開閉器を必ず切ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。その他、機器取扱説明書に従って工事を行ってください。	

⚠注意			
本製品は太陽光発電システム用保護継電器盤です。使用用途以外で使用しないでください。		キャビネットの通線穴加工を行った後は、塗装（防錆）処理を十分に行ってください。	
設置は取付面の水平を確認し、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。強度が十分でない場合、保護継電器盤が落下し、けがや機器が故障する原因となる可能性があります。		壁面取付時は、取付後、背面に水が浸入しないように、保護継電器盤と壁面の外周にシーリング材を塗布し防水処理を行ってください。	
施工時に取外した端子カバー、保護カバーなどは必ず元の位置に戻してください。感電、短絡事故のおそれがあります。		端子台のねじはＭ４です。確実に配線してください。接触不良で誤動作の原因となります。	

■保証期間

（1）保証期間

納入品の保証期間は、お客様ご指定の場所に納入後、１年間といたします。

（2）保証内容

保証期間中に納入業者の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または、修理を納入者側の責任において行います。ただし、次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

a）需要者側の不適当な取扱いで使用された場合
b）故障の原因が納入品以外の事由による場合
c）納入者以外の改造または修理による場合
d）その他、天災、災害などで納入者の責にあらざる場合

標準付属品一覧表

取扱説明書（本書）	１枚
零相電圧検出器	１セット
Ｎ２００番キー	２コ（ＰＶ－０ＶＧのみ）

施工業者名

TEL

施工年月日　　年　　月　　日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社のお客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2012年3月現在のものです。

B966832

日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL（0561）64-0152
http://www.nito.co.jp